

「はまかせ」(金沢版)

平成 28 年 10 月 14 日号

連載 第82回

横浜市会議員 おばた正雄氏 横浜を語る



感謝の心で金沢づくり
横浜から日本を創る!
市会議員
おばた正雄

〈プロフィール〉

昭和54年より横浜市議員。10期。

〈ご相談・ご連絡先〉

事務所:金沢区谷津町332

TEL: 045-783-7869

FAX: 045-786-5315

obatamasao17@gmail.com

おばた正雄HP 検索

決算特別委員会報告 横浜市の保育政策にも課題山積

子ども・子育て政策の拡充を提言

横浜市の子ども・子育て支援策を!

第3回定例会

は、10月18日

まで開催され

小児医療費助

成を小学校6

年生までに拡

大する条例改

正案などを可

決。引き続き

27年度の決算

特別委員会の

局別審査を行

っています。

子育て支援策を!

27年度の決算特

別委員会は9月29

日から行われ、初

日の総合審査で、

私は「維新・ヨコ

ハマ会」を代表し

て、林市長や幹部

職員に市政運営の

最重要政策に「子

ども・子育て支援

策」と「若い世代

の応援」の必要性

を提言しました。

日本の最大の課

題は人口減少問題

です。日本の合計

特殊出生率は1・

46ですが、このま

ま推移すれば日本

の人口は減少し続

け、地方都市だけ

でなく東京都では

23区中、豊島区が

消滅する可能性が

あります。本市も

3年後には人口が

減少に転じ、税収

不足などにより高
齢化対策や市民サ
ービスの低下など
について様々な危
機的な問題が発生
します。それが20
25年問題です。

Q. 待機児童対策

は?

A. 横浜市では、保

育園の待機児童対

策に取組み、待機

児童ゼロを達成し

たと報告し、横浜

市の保育対策は全

国のモデル都市と

いわれるようにな

り、マスクミでも

度々取り上げられ

てきました。

本市の待機児童

は、26年は20人、

27年は8人、28年

は7人と公表され

ましたが、実際に
は保育所等利用申
請者数は過去最大
の約6万2千人、
保育所等の利用児
童数は約5万9千
人で3千8百人近
く増加しました。

本市は毎年、保

育所等の施設を増

設していますが、

3千人以上が希望

通りの保育所等を

利用できず、昨年

同期と比べ6百人

以上増加しました。

そこで保育児童

を全員入所させる

と想定した場合、

子ども対策関連の

施設整備費や保育

士の確保対策など

どこまで拡充すれ

ば良いのか、本市
の課題は何かとの
質問をしました。

子ども青少年局

長は施設数は約50

施設以上必要で、

保育士の確保など

多くの課題がある

と答弁。また林市

長は本市は各種の

課題に取組み、ギ

リギリの予算編成

で努力していると

の答弁でした。

私は本市の努力

は理解するが子ど

も・子育て予算を

増加しなければ人

口減少対策にはな

らない。本市の政

策の抜本的な見直

しと国に対する働

きかけを行うよう

提言しました。(続)